



みんなで作ればおいしさもアップ



消防士さんの安全確認があれば安心



バランスのとれたメニューは元気の源

# 市政トピックス TOPICS

6月30日、落合総合センターで消防士の料理教室が開催されました。午前・午後と2回行われた教室には市内外から約50人が参加。食育について学んだ消防士がその成果を参加者にプレゼンする学習の後、体が資本の消防士のために管理栄養士が考案したバイオ液肥野菜を使った手早く作れるバランスの良いメニューを参加者と消防士と一緒に調理や食事をしながら、防災や食育、食品ロス削減・循環型社会などの意識を高めました。

**環境ごみスクール**  
混ぜればごみ分ければ資源

6月27日、草加部幼稚園で環境ごみスクールが開催されました。この日は、同園の参観日で、園児たちは保護者と一緒にリサイクルマークのパズルやごみの分別体験、ごみに関するクイズなどに挑戦し、ごみの出し方を学びました。この取り組みは、クリーンセンターまにわが毎年行っているもので、今年は草加部幼稚園のほかにも、久世第二保育園や米来幼稚園、久世こども園でも開催されました。



ごみを種類ごとに分別してみよう



事業開始日などさまざまな議案を審議

**(一財)真庭スポーツ振興財団設立総会  
スポーツ振興を目指して**

6月26日、落合総合公園白梅総合体育館で一般財団法人真庭スポーツ振興財団設立総会が開催されました。この財団は、明るく健康で過ごせるまちづくりを進めるため、市内のスポーツ振興の中心となる組織として設立されました。今後、スポーツ関連団体などと連携し、誰もがスポーツを楽しめる環境を整え、全市民的なスポーツ振興に取り組み、スポーツや体力づくりなどの活動支援を行います。



市長室から  
こんにちは!

## 「お盆」を考える

今年もお盆を迎えます。真庭では、全国の多くの地域と同様に、8月13日がお盆の入り、16日が送りとなっています。お盆は、一般的に仏教行事と思われていますが、実は日本古来の祖霊信仰も溶け込んでおり、中国、台湾、韓国でもこの時期に同様の祖先を祀る行事があるようです。

さて、皆さんはお盆をどう過ごされるのでしょうか。仏教徒の方は、お墓や仏壇を掃除し、お供えをします。仏壇の外に祭壇を組んで位牌を並べるお家もあります。こうして、ご先祖を偲びつつ、今生きていることに感謝するのです。併せて、15日が終戦記念日に当たることから、全国民が戦没者を慰霊し、平和を祈る日にもなっています。

お盆は、祈りの時であります。楽しいことがたくさんある時期でもあります。真庭市内でも、各地で盆踊り、花火大会などが行われます。子どもたちにとっては良い思い出になることでしょう。若者たちがこのような行事に参加し楽しみながら、伝統を受け継いでいくことを願っています。

また、お盆は里帰りの時期でもあります。久しぶりに賑やかな大家族になるご家庭もあるでしょう。同窓会もあることでしょう。ご家族、地域の方々、友人などと心の通い合う大切なひとときを楽しんでください。そのような中で、自分の人生、そしてふるさと真庭や地域のこともお考えいただければありがたいなと思っています。加えて、真庭を営々と守り発展させてきた歴史と、SDGs未来都市を目指す真庭の将来にも思いを馳せていただけたら、市長としてこの上ない喜びであります。

この季節が、それぞれの方にとって充実したものになることをお祈りして筆を置きます。



意見を出し合う参加者(7月8日湯原ふれあいセンター)

### 地域防災説明会 「私の避難プラン」作成に向けて

昨年の7月豪雨災害後に行われた地域防災説明会で集まった意見をもとに、今年も6月19日から市内各地で地域防災説明会が開催されました。主な議題として挙げられたのは「避難場所の見直しや、「私の避難プラン」と呼ばれる避難時に支援が必要な人たちの個別計画の作成。自主防災組織や自治会の代表者、消防団員などが参加し、「私の避難プラン」の作成方法や避難場所についての意見を出し合いました。



自動車文庫の名称は「ブックるんまにわ」

### 自動車文庫の出発式 ブックるんまにわ出発

7月10日、中央図書館で自動車文庫の出発式が行われました。愛称募集には154人が応募し、勝山小学校4年生の白石紅衣さんの「ブックるんまにわ」が選ばれました。「くるくるまわって、たくさんの人に本を届けてほしいという思いを込めて考えた」と白石さん。除幕の後、招待された勝山こども園の園児らに見送られ、巡回先へ出発しました。市内の図書館から遠い地域28カ所を月1回のペースで巡回します。